

みんなの生き生きライフ

—神戸市医師会だより— 第35号

年3回発行

2018.3月

# 健康 と 笑顔

神戸市における  
初期救急医療体制の  
現状について

ぶらり湯けむり紀行  
ゆうゆうらんど 紀の国

ホームドクターに聞く!  
健康アドバイスQ&A

コラム  
薬もあなたも大切に

一般社団法人神戸市医師会

〒650-0016 神戸市中央区橘通4丁目1番20号 TEL(078)351-1410  
ホームページ <http://www.kobe-med.or.jp/>

特集  
初期救急医療への  
神戸市医師会の取り組み



# 初期救急医療への 神戸市医師会の取り組み



神戸市医師会 会長  
置塩 隆

神戸市医師会は、昭和31年に設立され、平成30年で62周年を迎えます。設立以来、医療の専門家集団として、神戸市民のため、地域医療のため様々なかたちで貢献してまいりました。そのひとつが神戸市における初期救急医療への協力です。

神戸市の初期救急体制は、平成29年10月に「救急あんしんセンターこつべ」が開設され、ひとつの大きな転換点を迎えました。「救急あんしんセンターこつべ」とは、神戸市が運営する救急電話相談事業です。「めまいがしてうまく立てない」など、救急車を呼ぼうか迷った時や、受診できる医療機関がわからない時など、24時間・365日いつでも相談を受け付けるダイヤルです。

今回の「健康と笑顔」は『特別版』として、神戸市医師会が携わってきた神戸市における初期救急医療について振り返るとともに、現在の体制や今後の展望等を皆さまと見ていきたいと思えます。

**全国に先駆けて実施された「休日急病電話相談事業」**

昭和46年12月19日、当時の東灘市民病院の1室に「東灘区医師会電話相談所」が設置されたのを皮切りに、各区医師会に「休日急病電話相談所」が設置されました。これは、「休日における神戸市内の急病人に対し、適切な受療の機会を与えることを目的とした休日急病対策事業（アレス）」として、神戸市より委託を受けて実施された事業で

す。医療機関がほとんど閉まっている休日に体調が悪くなったりした場合に、緊急を要する症状なのか、次の日まで様子を見るべき症状なのかを自分で判断することは、今も昔もなかなか難しいものです。そういったとき、医師が電話で相談に応じ、必要であれば、休日に診療が可能な医療機関を紹介し、診察してもらう初期救急のシステムでした。

最近、テレビや雑誌で、「初期救急」や「2次救急」といった言葉を耳

にすることが増えました。でも、ピンと来られる方はそんなには多くはないのではないのでしょうか。日本では、救急医療を「1次救急」、「2次救急」、「3次救急」の3つに大きく分けています。「1次」から順に救急度が増し、帰宅可能な軽症の患者さんに対する救急医療を「1次救急」と呼び、次に「一般病棟」に入院する必要がある患者さんに対する救急医療を「2次救急」、さらに重症のため、集中治療室に入院する必要がある患者さんに対する救急医療を「3次救急」としています。「2次救急」

「3次救急」の医療機関は限られており、夜間や休日となるとさらに多くの方に対応することは難しくなります。軽症の患者さんも「2次救急」、「3次救急」の医療機関を受診しては、本来に必要としている患者さんの診察ができなくなってしまう。そこで、初期救急である「1次救急」の役割が非常に大切になってくるのです。

「休日急病電話相談事業」は、全

国に先駆けて行われた極めて優れたシステムでしたが、その後、患者さんのニーズ等を鑑みて、平成26年10月には1カ所に集約して、続けてまいりました。そして、休日のみではなく、24時間・365日、神戸市民への医療機関案内や救急医療相談を受ける機能を持つ「救急安心センターこうべ」が平成29年10月に開設されたことを受け、46年間に亘って果たしてきた役割を終え、その事業を「救急安心センターこうべ」に引き継ぎました。

### 救急安心センターこうべ 開設記念「平成29年度救急医療フォーラム」開催

平成29年9月2日、「救急安心センターこうべ」の開設を記念して、「平成29年度救急医療フォーラム」を神戸市の今後の救急医療体制は何かにあるべきかを検討することを目的に開催いたしました。フォーラム冒頭に、久元喜造神戸市長より挨拶をいただき、神戸市の救急医療

に多大な貢献を行ったとして、神戸市医師会と神戸市立医療センター中央市民病院に感謝状の贈呈が行われました。

神戸市医師会はこれまでの「休日急病電話相談事業」の功績、神戸市立医療センター中央市民病院は厚

生労働省が実施している全国救命救急センター評価において、3年連続全国1位に選ばれるなど、「断らない救急」を実践し、市民の最後の

皆としての役割を果たしている功績がそれぞれ認められたものです。

今後も神戸市医師会は、神戸市

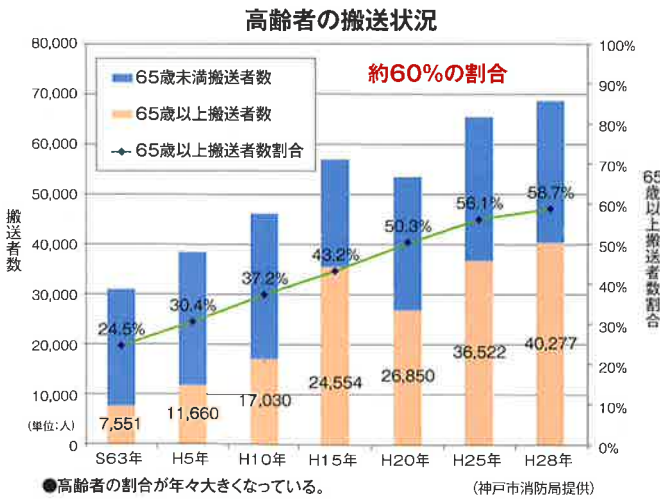
民の皆様が安心して生活を送ることができるよう、救急医療対策をはじめ神戸市医師会としての責務を果たしてまいります。



### 神戸市の救急の現状について

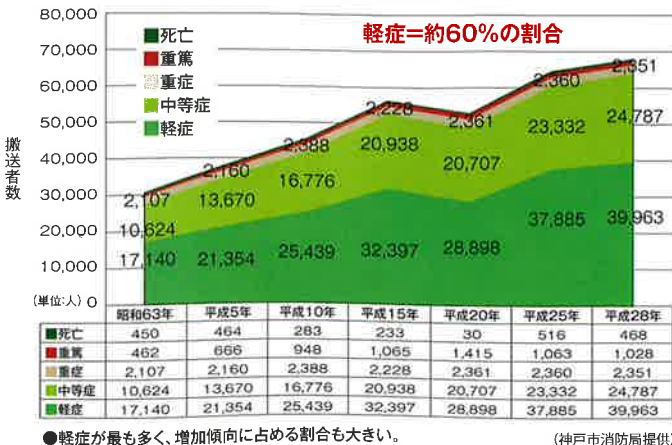


# 神戸市における 初期救急医療体制の現状について



神戸市での救急出動件数は年々増加し平成28年度は1年間で80,859件と8万件を超え、これは6・5分に1回の割合で救急車が出動していることになりました。その内、約11,000件が不

### 傷病程度別搬送者数の推移



搬送でした(救急搬送の必要がなかった)。そして、65歳以上の高齢者の搬送者数割合が約60%を占め、また、軽症者の搬送が60%を占めているのが現状です。

救急医療は「医の原点」で、救急



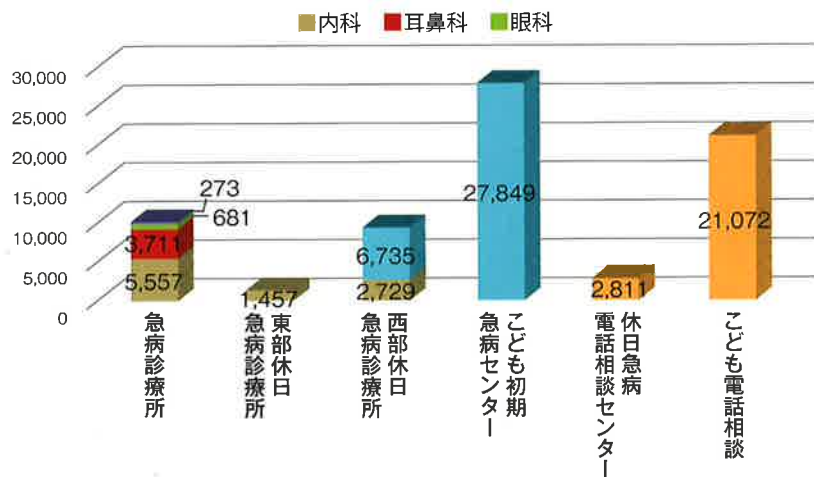
神戸市医師会救急対策担当理事  
近藤 誠宏

### 神戸市医師会の初期救急医療体制

	平日	土曜日	休日
0時～9時			
9時～12時	かかりつけ医	かかりつけ医	医師会 東部・西部・ 急病診療所
12時～15時			
15時～18時	かかりつけ医		
18時～21時		医師会 急病診療所	医師会 急病診療所
21時～24時	医師会 急病診療所		



### 平成28年度 神戸市における初期急病患者実績



### 平成28年度 救急対策事業 実績

科目	急病診療所					西部休日急病診療所			東部休日急病診療所	休日急病電話相談	総計
	内科	耳鼻咽喉科	眼科	産婦人科	計	小児科	内科	計	内科		
4月	372	250	65	20	707	374	122	496	87	169	1,459
5月	426	419	44	43	932	694	222	916	121	316	2,285
6月	195	179	30	14	418	275	56	331	42	129	920
7月	318	322	72	16	728	534	106	640	66	198	1,632
8月	292	244	39	17	592	326	70	396	48	174	1,210
9月	240	279	49	21	589	395	94	489	63	201	1,342
10月	297	299	51	24	671	436	102	538	58	225	1,492
11月	380	301	46	18	745	511	156	667	90	197	1,699
12月	773	407	102	35	1,317	856	451	1,307	236	374	3,234
1月	1279	472	115	36	1,902	1,068	799	1,867	414	433	4,616
2月	619	258	27	16	920	804	389	1,193	151	231	2,495
3月	366	281	41	13	701	462	162	624	81	164	1,570
計	5,557	3,711	681	273	10,222	6,735	2,729	9,464	1,457	2,811	23,954

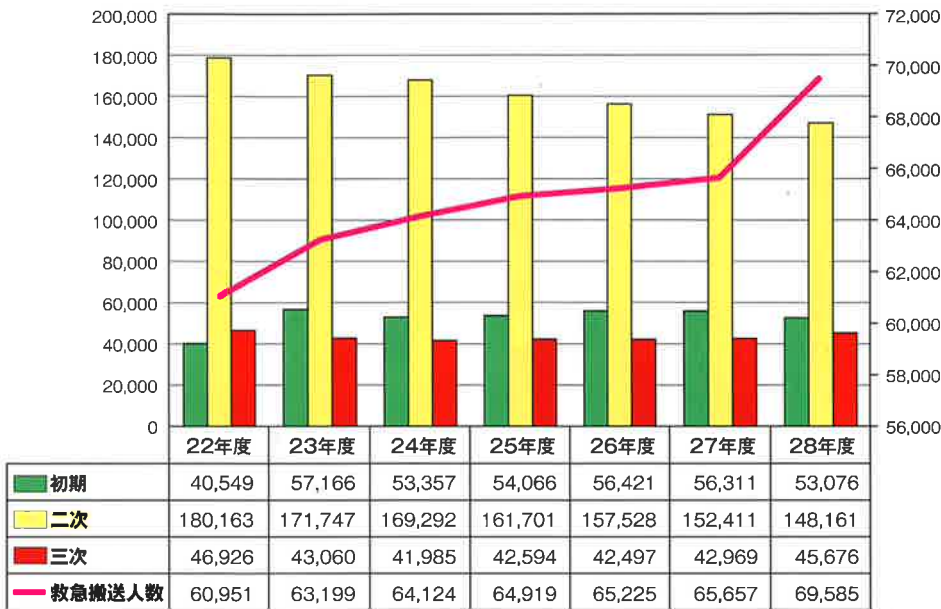
医療は神戸市民のセーフティネットです。救急医療の対象者となる患者さん、傷病程度は多彩で、社会や地域のニーズに答え、刻々と変化していかなければなりません。かかりつけ医、各専門診療科、後送病院としての二次、三次救急医療機関との連携が不可欠です。「神戸市の救急医療体制」は初期、第二次、第三次救急に分類さ

れ、(1)初期救急として、神戸市医師会急病診療所、東部休日急病診療所、西部休日急病診療所、そして、神戸こども初期急病センターが担っており、(2)第二次救急として、二次救急病院群輪番制(神戸市にある48病院(公立6病院、民間42病院)が参加している一般社団法人神戸市第二次救急病院協議会が輪番制を組んで、毎

日交代で診療を行っています)、市民病院群(西市民病院、西神戸医療センター等)が担当し、(3)第三次救急として、神戸市立医療センター中央市民病院、兵庫県立こども病院、第三次的機能病院としての神戸大学付属病院が担当しています。その中で、神戸市医師会員の先生方は初期救急医療に協力して頂い

ており、診療時間内での対応はもちろんのこと、自院の診療時間外にも、神戸市内にあります3か所の急病診療所(神戸市医師会館急病診療所、東部、西部休日急病診療所)で出務して頂いております。その他として、兵庫県が行っている#8000小児救急電話相談事業があります。

神戸市における救急患者の推移と救急搬送  
初期救急医療は全体の約20%



※初期救急には休日歯科診療所含む

神戸市在住の方向けのサービスです

急な病気やケガで 病院?救急車?迷ったら!

#7119 にお電話を 

(携帯電話・PHS・ブッシュ回線)

ダイヤル回線やIP電話でつながらない場合は、078-331-7119 (すべての電話でご利用いただけます)へ

相談できないもの

服薬、治療方針  
介護相談  
健康相談、育児相談  
セカンドオピニオン



緊急を要すると思ったら迷わず119番に!



神戸市における初期、二次、三次の約20%が初期救急医療機関を受診しています。

(神戸市医師会の神戸市救急医療体制への取り組みの変遷)

この間、昭和46年に休日急病電話相談所を開設、昭和50年に夜間急病診療所(大倉山)開設、昭和53年には夜間急病診療所移転(現 神戸市医師会館1階)しました。

平成14年に小児科休日急病診療所開設、平成23年には神戸市医師会急病診療所「内科」休日の診療枠(13時~17時)拡充、平成26年より各区休日急病電話相談所を統一し、休日急病電話相談センターとして再稼働、東部休日急病診療所新設、小児科休日急病診療所に内科を併設し西部休日急病診療所として開設、神戸市医師会急

平成28年度の神戸市における初期急病患者実績では、神戸市医師会急病診療所では内科...5,557名、耳鼻咽喉科...3,711名、眼科...681名、産婦人科...273名、年間合計10,222名、西部休日急病診療所では小児科...6,735名、内科...2,729名、合計9,464名、東部休日急病診療所では内科...1,457名の患者さんの診療を行っています。

神戸市における初期、二次、三次救急医療機関を受診した救急患者さんの平成22年度からの推移と救急搬送の割合ですが、二次救急病院群の負担が非常に大きい現状があります、全救急搬送患者数

の約20%が初期救急医療機関を受診しています。

(神戸市医師会の神戸市救急医療体制への取り組みの変遷)

この間、昭和46年に休日急病電話相談所を開設、昭和50年に夜間急病診療所(大倉山)開設、昭和53年には夜間急病診療所移転(現 神戸市医師会館1階)しました。

平成14年に小児科休日急病診療所開設、平成23年には神戸市医師会急病診療所「内科」休日の診療枠(13時~17時)拡充、平成26年より各区休日急病電話相談所を統一し、休日急病電話相談センターとして再稼働、東部休日急病診療所新設、小児科休日急病診療所に内科を併設し西部休日急病診療所として開設、神戸市医師会急

# ゆうゆうらんど 紀の国

# ぶらり 湯けむり 紀行

須磨海浜水族園や春の桜で名高い須磨海岸から東へ約700m。夏には海水浴客、この季節にはジョギング帰りのランナーたちからも親しまれている立ち寄り湯が「ゆうゆうらんど紀の国」だ。大人(中学生以上)420円と銭湯感覚で気軽に利用でき、施設内には大小の浴槽をはじめ、サウナや水風呂、ジェットバス、うたせ風呂、電気風呂、エステバスなどさまざまな入浴設備が。源泉名は「野田恵の湯」。クセのない単純温泉にマンガンや鉄分などのミネラル成分が含まれ、ほのかな赤茶色のお湯が温泉情緒を感じさせる。浴用に保湿・温浴効果に優れた「ナノ・ウォーター」を導入しているのも特色のひとつだ。毎月26日の「ふろの日」には70歳以上の高齢者入浴料が半額(18時まで)、毎月5日の「子供デー」は大人1人につき小人(0~6歳)2人まで無料など、ユニークな定例企画も地域の人々から好評。



施設外観



露天風呂



浴室内

泉質等/単純温泉(野田恵の湯)  
 効能/筋肉痛、五十肩、冷え性など

## Information

営業時間/14時~24時  
 定休日/なし  
 料金/中学生以上420円、小学生160円、小人(0~6歳)60円  
 (サウナ使用料100円:専用貸しバスタオルあり)  
 ※貸しバスタオル100円、貸しタオル無料、5くらぐセット580円(入浴料+貸しバスタオル+貸しタオル+ミニ石鹸+シャンプー&リンス)  
 ※無料駐車スペースあり(4台まで)



TEL.078-731-4833  
 神戸市長田区野田町8-5-12  
 アクセス/JR「麩取駅」から南へ徒歩約10分、国道2号線を越えてクロネコヤマトの営業所を左折、約3分。

病診療所休日昼間帯の「内科」診療枠(9時~13時)を拡充してきました。  
 そして、神戸救急医療ネットワーク(Ko+Me)と休日急病電話相談所事業を廃止し、神戸市は平成29年10月2日より「#7119 救急安心センターこうべ」を新設しました。このセンターは24時間365日、市民からの電話相談に対応し、医療機関案内、看護師に

よる救急医療相談を行っています。  
 そして、平成30年1月末までのセンターの対応総件数は、平成29年10月5、353件、11月6、080件、12月8、577件と徐々に増加し、平成30年1月は10,813件と1万件を突破し、開設後4カ月間の総対応件数は30,823件に達しています。  
 その内、医療機関案内が17、

527件(総件数の約57%)、救急医療相談が9,373件(総件数の約30%)、その他が3,923件(約13%)となっています。相談員のトリアージの結果、救急要請が必要であると判断された件数は2,433件(約26%)で、119番に転送されたのが1,371件で、実際に救急車出動した件数は1,341件となっています。  
 これからも神戸市医師会とし

ましては、3か所の急病診療所等を中心に、「#7119 救急安心センターこうべ」からの紹介患者さんに、安心して安全な救急医療を施していきたいと考えています。

# ホームドクターに聞く! 健康アドバイス Q&A



救急車を呼ぶ時の注意等ってあるのでしょうか。もしものときのために、教えてください。また、「救急安心センターこうべ」以外で、救急の必要性を自分で判断できるようなものはありますか。(30歳代女性)



**救急車を呼ぶ時は、次の点に注意しましょう。**

1. 最初に、患者さんの状況を確認してください。

①名前、②性別、③年齢(推定)、④意識の有無、⑤呼吸状況、⑥身体状況

2. あわてずに、落ち着いて話をしましょう。

3. 119を呼び出し、「救急です」と言いましょう。

4. 心臓や呼吸が止まっている時は、すぐに伝えましょう。

5. 119番に電話をすると、次のことが聞かれます。

①住所、②電話番号、③目印になる建物(近くの公共施設やお店の名前)

他にも次の点を確認しましょう。

・誰が、どうしたのか(病気、けが、交通事故など)。

・患者さんの年齢、性別。

・電話をかけている人は、患者さんと一緒にいるのか(頼まれて通報しているのか)。

・呼吸は楽にしているのか(普段どおりの呼吸なのか)。

・冷や汗をかいていないか。

・顔色は悪くないか。

・普通に話ができるか。

・どういった症状なのかを詳しく。

**救急車が来るまでに、用意しておく便利なもの。**

①保険証や診察券、②お金、③靴、④普段飲んでいる薬(おくすり手帳)

(乳幼児の場合はさらに、母子健康手帳、紙おむつ、哺乳瓶、タオル)

**救急車が来たら、こんなことを伝えましょう。**

・事故の状況や体調が悪くなったら、救急隊が到着するまでの様子やその変化。

行った応急手当の内容

・患者さんの情報

持病、かかりつけの病院やクリニック、普段飲んでいる薬、医師の指示など(口頃からメモにまとめておくとう便利です)

また、神戸市消防局では、「神戸市救急受診ガイド」(<http://www.kyukyujushinguide.jp/kobe/>)のWEBサイトを運営しています。表示される質問に順番に答えるだけで、「救急車を呼ぶ必要がある」、「2時間以内に医療機関へ行くようながす」、「医療機関の受診をすすめる」、「経過観察をすすめる」といった判定結果が表示されます。パソコン、スマートフォンやタブレット等から、24時間いつでもご覧いただけます。

**救急車を本当に必要としている方が利用できるように、安易な要請は避けましょう。**





# 救急安心センターこうべ

## #7119

ダイヤル回線やIP電話でつながらない場合は、**078-331-7119**

**こども急病電話相談 ☎078-891-3499**

平日20時～翌朝7時	土曜日15時～翌朝7時	休日9時～翌朝7時
------------	-------------	-----------

## 神戸市医師会急病診療所

駐車場あり

診療日	診療科目	受付時間
平日	内科	21時～23時40分
土曜日	内科・眼科・耳鼻咽喉科	18時～23時40分
休日	内科・産婦人科・耳鼻咽喉科	9時～16時40分
	内科	18時～23時40分

●神戸市中央区橋通4丁目1番20号 ☎078-341-2313



## 東部休日急病診療所

駐車場なし

診療日	診療科目	受付時間
休日	内科	9時～16時40分

●神戸市灘区岸地通1丁目1番1号(灘区民ホール3階) ☎078-801-5199



## 西部休日急病診療所

駐車場あり

診療日	診療科目	受付時間
休日	内科・小児科	9時～16時40分

●神戸市西区学園西町4丁目2番地 ☎078-795-4915



## 神戸こども初期急病センター

駐車場あり

診療日	診療科目	受付時間
平日	小児科	19時30分～翌朝6時30分
土曜日		14時30分～翌朝6時30分
休日		8時30分～翌朝6時30分

●神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番1号(HAT神戸内) ☎078-891-3999



※急病診療所は、夜間・土曜日・休日の急な病気に対して応急的な診療を行う診療所です。症状が軽くなっても翌日や休日明けに、必ずかかりつけ医や近くの医療機関を受診してください。  
 ※お薬は1日分、または休日分の処方です。  
 ※保険診療を行っていますので、診療を御希望される方は健康保険証、福祉医療費受給者証をお持ちください。  
 ※電話での医療相談はできません。  
 ※内科は15歳以上(高校生以上)、小児科は15歳未満の方が対象です。

# コラム Column



## 薬もあなたも大切に

薬をたくさん飲んでほしい高齢の患者さん。  
「先生、朝飲んでる白くて丸い薬ね、あれが  
なくなっちゃったんだけど」

「えい、この薬のことですか？血圧？コレス  
テロール？」

「ちいかわから入ったけど、さしも出しては  
やしてあげ」

そうかと思えば、こんな患者さんも。

手持ちの薬を袋ごと全部持って来て診察机に  
山盛りに拵げて、

「飲み忘れたりして数がバラバラになってし  
まいました。1カ月に合わせて出してください」  
いずれも医者泣かせの患者さんですね。

医療の進歩で次々と新しい薬が出てその種  
類も多種多様になり、しかも平均寿命の伸びと  
ともに、高齢者を中心に10種類以上上の薬を飲  
んでいる方も珍しくありません。ひとつひとつ  
の薬の名前や効果を覚えるのはさぞかし大変  
だと思います。

でも、わたくしが医師として世に出ている白くて  
丸い薬を全て知っているわけではありませ  
んし、忙しい診察の合間に残薬の数を数えてあげ  
る時間はなかなかとれません。

最近、薬局でお薬一覧という写真付きの解  
説用紙をくれますので、お薬手帳とともにそれ  
を医師に見せること、薬の数が合わなくなつた  
ら、自分でゆいゆいと数えて紙に書くこと、こ  
れが一番間違いのない方法です。

でも何よりも、せつかく出された薬を何のた  
めに飲んでいるのかくらいは覚えてほしい。薬  
は決してタダではありませぬし、犬のエサでは  
ないのです。あなたの健康を守るのは結局あな  
た自身なのですかい。

## 神戸市医師会ウェブサイトのご案内 <http://www.kobe-med.or.jp/index.html>

神戸市医師会ではウェブサイトを開発しています。市民の皆さまのお役に立つ情報、過去に発行された「健康と笑顔」等を掲載しています。

また、神戸市医師会を紹介した「PRビデオ」や「神戸市医師会歌」も公開しています。「神戸市医師会歌」は設立10周年の際に神戸市医師会会員によって作詞・作曲され、平成28年に設立60周年を迎えたことを記念し、伴奏編曲が行われました。ウェブサイトのトップページにある「神戸市医師会について」から御覧いただけます。

また、スマートフォンからもアクセスできますので、ぜひ御活用ください。



# 乳がん検診を受けましょう

乳がんは、**早期発見**が何よりも大切です。  
**満40歳**を過ぎたら、**2年に1度**の  
乳がん検診を受診しましょう。

神戸市医師会医療センター診療所  
(神戸市乳がん検診指定医療機関)では  
マンモグラフィによる乳がん検診を  
実施しております。



マンモグラフィは、  
**女性技師**が  
担当します。

## 予約申し込み方法

かかりつけの医院または  
直接電話でご予約ください。

神戸市医師会医療センター診療所  
神戸市中央区橘通4丁目1-20(神戸市医師会館1F)

☎078-351-1401

1.「健康と笑顔」はどこでお持ち帰りになりましたか?

- ① 病院・診療所
- ② あんしんすこやかセンター
- ③ その他 ( )

2.今号の「健康と笑顔」で興味のある記事は?

- ① 特集 初期救急医療への神戸市医師会の取り組み
- ② 神戸市における初期救急医療体制の現状について
- ③ 湯けむり紀行
- ④ ホームドクターに聞く! 健康アドバイスQ&A
- ⑤ 薬もあなたも大切に

3.本誌の感想、今後取り上げてほしいテーマなどが  
ございましたら、ご記入ください。

# Present

抽選で1,000円分の  
図書カードを20名様にプレゼント



## 応募方法

左のハガキに必要事項を記入し切手を貼ってお送りください。  
4月30日必着。当選者へは5月中に賞品を発送します。  
なお、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

# 健康は家族への愛 健康診断を受けましょう

神戸市医師会では兵庫県・神戸市、全国健康保険協会(協会けんぽ)などの指定を受け、各種**健康診断**、**人間ドック**を実施しております。

## 予約申し込み方法



かかりつけの医院または  
直接電話でご予約下さい。

神戸市医師会医療センター診療所  
神戸市中央区橘通4丁目1-20(神戸市医師会館1階)

**☎078-351-1401**

【予約受付時間】

午前9時～午後5時(土曜日の午後、休日は除く)

## ●救急安心センターこうべ 【365日・24時間対応の救急相談】

平成29年10月2日より、  
救急安心センターこうべが始まりました。

「夜中、熱が下がらない。救急車呼ぶ?  
診てくれる病院は?」

#7119  
救急相談ダイヤル

一迷ったら、救急相談ダイヤル「#7119」へお電話をー

☎#7119 (つながらない場合は **078-331-7119**)

休日急病電話相談センターは、平成29年9月末をもって廃止されました。

## ●神戸こども初期急病センター こども急病電話相談

☎078-891-3499

(看護師による小児救急医療に関する助言)



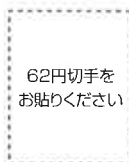
### 受付時間

月～金曜日 / 20:00～翌朝7:00

土曜日 / 15:00～翌朝7:00

休日・年末年始 / 9:00～翌朝7:00

郵便はがき



62円切手を  
お貼りください

6500016

神戸市中央区橘通4丁目1番20号  
一般社団法人神戸市医師会  
「健康と笑顔」プレゼント係

ふりがな		性別	男・女
お名前		年齢	歳
ご住所	〒		
電話番号	( )		

※ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送以外には使用しません。